

わかぞうてん  
「第6回若造展2019」開催要領

～南信州の若手アーティストたち～

(平成30年7月13日現在)

1 趣 旨

地域の文化芸術活動を将来にわたって永続的に展開していくために、次の世代を担う飯田下伊那地域（以下南信州という。）にゆかりのある若い方々に作品の発表の場を提供することにより、彼らの創作意欲のさらなる喚起を図るとともに創作者同士の交流を通じて表現技術の向上に資する。

2 主 催 長野県飯田創造館

3 共 催 長野県・長野県教育委員会

4 後援予定 飯田市、下伊那郡町村会、飯田市教育員会、南信美術会  
信濃毎日新聞社、南信州新聞社、中日新聞社、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、週刊いいだ、中日新聞飯田ホームニュース、NHK、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、飯田エフエム放送、飯田ケーブルテレビ、月刊・タウン情報いいだ(有)アド・プレーン、月刊まじめ

5 会 期

平成31年（2019年）1月6日（日）から1月20日（日）。

午前9時から午後5時まで。最終日は、午後3時まで。

但し、1月9日（水）と1月16日（水）は休館日。

6 会 場・問合せ先

長野県飯田創造館 3階 301号室・ふれあい創造ギャラリー・ロビー

〒395-0013 長野県飯田市小伝馬町1丁目3541-1

TEL 0265-52-0333、 Fax 0265-52-0081

E-mail [kumagai-id@grace.ocn.ne.jp](mailto:kumagai-id@grace.ocn.ne.jp)、URL <http://iidasozokan.sakura.ne.jp/>

7 作品の募集

(1) 出品資格

南信州の出身者及び住居または勤務地を有する者並びに当該地域の高等学校、飯田養護学校、飯田女子短期大学、飯田技術専門校及び飯田コアカレッジ等の教育・職業訓練機関に通学（在籍）及び卒業（修了）している者であって、年齢は16歳以上概ね40歳の者とする。

但し、第1回から第5回までの若造展に出品した者は、賛助会員として出品できる。

(2) 出品作品の種別及び規格

- ア 第1部(日本画) 150号(額縁を含めた高さ237cm)以内とする。
- イ 第2部(洋画) 油絵・アクリル・水彩・パステル・版画・コンピュータグラフィック等で150号(日本画に同じ)以内、絵の具が他に付着する恐れのないものとする。
- ウ 第3部(彫刻) 高さは237cm以内とする。一作品一梱包とする。
- エ 第4部(工芸) 「立体作品」は高さ約80cm以内とし、一作品一梱包とする。  
「壁面作品」は額縁を含めて約122cm以内とする。  
「染織」は約120cm以内にたたむことができるものとする。
- オ 第5部(書道) 「漢字」「漢字系調和体」「かな」「かな系調和体」の仕上がり寸法の縦横は自由とする。できるだけ額または枠装とし、ガラス・アクリルは使用しない。  
また、「篆刻」、「刻字」は自由とする。
- カ 第6部(コンテンポラリー) 既存の表現方法や概念にとらわれず、新しい美術の可能性を模索する美術分野とする。

キ 出品作品の準備等

- ① 日本画・洋画は額装の有無を問わないが、額装作品には吊り金具を付けること。額装しない場合もこれに準ずること。また、反らないように工夫すること。
- ② 絵の具は他に付着する恐れのないこと。
- ③ 額にガラスを使用の場合は、樹脂ガラス(アクリル)とする。
- ④ 梱包せずに各自搬入・撤収してかまわない。

ク 出品上の注意

- ① 出品点数は、原則として、各部門一人三点以内とする。但し、展示スペースが許せばこれにこだわらないので、あらかじめ飯田創造館担当熊谷に相談すること。
- ② 出品しようとする者は、平成30年(2018年)12月10日(月)までに、出品申込書及びプロフィール票(飯田創造館のホームページからダウンロード可能。なお、プロフィール票の提出は任意とする。)に必要事項を記入の上、できるだけ郵送又はメールで申し込むこととするが、Faxでも可とする。
- ③ 搬入時に作者が独自に作成した様式に作品の題名・氏名等を記載した用紙を作品の裏面に必ず貼付すること。

④ 展示用のキャプションは、すべて統一したものとする。題名と氏名（雅号等はかっこ書き）の表記は原則として申込書から転記する。

(3) 展示作品の搬入及び搬出の日時及び場所

ア 搬入日時 平成 31 年（2019 年）1 月 5 日（土）午前 9 時から

午前 11 時まで。搬入が終わり次第、出品者全員で展示を行う。

なお、搬入時に都合が悪い場合は、この日以前でも、順次受け付ける。但し、毎週水曜日（12 月 26 日等）及び年末年始（12 月 28 日から 1 月 3 日まで）は休館日。

イ 搬出日時は、平成 31 年（2019 年）1 月 20 日（日）午後 3 時以降から午後 6 時までとする。出品者全員で片付け作業を行う。

ウ 搬入・搬出場所 長野県飯田創造館 3 階 301 号室

8 出品料・入場料等 いずれも無料。過去における発表の有無は問わない。

9 その他

(1) 出品作品に対し管理・取扱いには十分注意するが、不慮の損害に対してはその責任を負わない。

(2) 7 の (1) 出品資格、7 の (2) に定める出品作品の種別及び規格並びに 7 の (3) 搬入・搬出日時によりがたい場合は、飯田創造館担当熊谷にあらかじめ相談すること。

(3) 会期中の 1 月 6 日(日)、12 日(土)及び 19 日(土)のいずれも午後 1 時 30 分から出品者によるギャラリートークを行う。

なお、出品者は、いずれかの日にできるだけ参加すること。

(4) ふれあい創造ギャラリー・ロビー及び玄関前特設ステージ等において、1 月 12 日(土)の夕方並びに 13 日(日)及び 14 日(祝)のいずれも午前 10 時からライブパフォーマンス(ペインティング)等を行う。

(5) 出品者で自らの日頃の制作風景等を撮影した写真や動画等を 301 号室又はふれあい創造ギャラリー・ロビーに特設する暗室及びモニターを利用・放映することができるものとする。

(6) 上記(4)から(5)を希望する者は、申込書に必要事項を記入の上、12 月 10 日(月)までに申し込むこと。

(7) 公募用チラシ・展示会チラシの作成・配付、キャプションの作成、作品の飾り付け・撤去、展示会場の受付・当番、ギャラリートーク、ギャラリーパフォーマンス(ペインティング等)及び交流会等の企画・運営は、必要に応じて、担当者を選任して、出品者の主体性を活かした展覧会とする方向を目指すものとする。



わかぞうてん  
**「第 6 回若造展2018～南信州の若手アーティストたち～」出品申込書**

(ふりがな) 出品者氏名 (性別)(年齢)	(雅号 ) (性別：男性・女性)、(年齢 才)
住 所 (生活根拠地)	〒
電話番号 メールアドレス	(携帯)電話 Mail
ギャラリー トーク等への 参 加 (該当に○印を) 複数可	<p>① ギャラリートークの希望日(少なくともいずれかに参加のこと) 参加 1：6日(日)、2：12日(土)、3：19日(日)、4：欠席</p> <p>② ライブパフォーマンス(ペインティング)等に参加したい 参加 1：12日(土)、2：13日(日)、3：14日(祝)、4：欠席</p> <p>③ その他場所・必要なもの等(例：玄関広場・ブルシートを持参する等)</p>
出品部門 及び出品点数	<b>ア</b> 日本画( 点)、 <b>イ</b> 洋画( 点)、 <b>ウ</b> 彫刻( 点) <b>エ</b> 工芸( 点)、 <b>オ</b> 書道( 点)、 <b>カ</b> コンテンポラリー( 点)
作品の題名及び 概ねの大きさ (単位：c m)	
作品の コンセプト (1作品について 概ね200字以内)	

- (注) 1 本書は、創造館のホームページからダウンロードできる。
- 2 募集期限は、12月10日(月)(期限厳守)までに飯田創造館へ、本申込書とプロフィール票(別紙・任意)をできるだけ郵送又はメールで提出すること。
- 3 氏名は本名(必ずふりがな)を記入し、雅号等は( )書きで表示する。目録やキャプションの題名・氏名(雅号)に転記する。なお年齢は平成30年度末現在とする。
- 4 複数の部門で出品される場合は、すべての部門について記入すること。
- 5 作品の大きさは、概ねで良い。整数で表示する。



わかぞうてん  
プロフィール票 (第6回若造展2019)

1 氏名 <sup>ふりがな</sup>	写 真 または イラスト
2 南信州との関わり等 (出身地、学校名)	
3 若造展への応募動機等	
4 趣味、尊敬する人等	
5 自己アピール (個展・応募展等の実績)	
<hr/>	
<hr/>	
<hr/>	

(注) 提案者の趣旨

第5回から任意でプロフィール票を作品横に貼り付けることになったので、ご協力をお願いします。

プロフィール票の添付は来場者には大いに参考になると思う。展示開催中の受付や説明等の当番がなかなかできない方は、補える部分があるのではないかと思う。

しかし、人によっては貼り付けたくない方も、作品の邪魔になると感じる方もおられると思う。作品は自分の見せ方がそれぞれだと思う。

ハガキサイズを基本としている。プロフィール作成が初めての方は、記載例(裏面)を参考にすること。また、記載は手書きでも結構である。写真はイラスト(オリジナル)等でも結構である。

なお、写真やイラスト等は、データを送ってもらえれば縮尺して貼り付け制作させていただくこともできるので、相談して欲しい。若造展自体新しい展示会なので、全員で徐々に進化させていけたらいいと思う。

第5回若造展出展者・飾りつけリーダー役 上林泰平

【記載例】（参考）

1 氏名 上林泰平



2 南信州との関わり等（出身地、学校名）

飛騨高山出身です。

飯田には3年前に移住し、画家活動を開始しました。

3 若造展への応募動機等

若造展には2回目から出品しています。

越して1週間、たまたま訪れた創造館で

募集要項を目にして、その場で申し込みました。

4 趣味、尊敬する人等

登山、クライミングが趣味です。

絵に通ずるものがあります。

熊谷守一という画家に憧れています。

5 自己アピール（個展・応募展等の実績）

個展は飛騨高山で数回。

飯田では2015年に一回。（これから何度もやりたいです。）

公募展は二科展、長野県展、南信美術展に出品。

南信美術展では70周年記念賞をいただきました。